

AEDの講習会を実施しました

近年、さまざまな施設でAEDが設置されているのをよく見かけます。弊社においても、11月にAEDを導入しました。



※AEDとは、日本語名は自動体外式除細動器。心臓が細かくけいれんし、血液を送れなくなる重い不整脈「心室細動」の患者に電気ショックを与えて救命する装置のことです。

「AEDの使用は、音声に従って操作を行うだけだから簡単」と、良く聞きますが、果たしてそうでしょうか？ 実際に目の前で人が倒れたらパニックにならずに迅速に且つ的確に対応できるでしょうか？

そうした“もしも”の際、完璧な処置に少しでも近づけるようにAEDの講習会を実施しました。

実施日時：12月13日（水）10:30～
参加者：課長職以上 + 衛生委員会メンバー
合計14名
内容：動画視聴、意見交換



動画視聴の様子



心室細動発生（動画より）



胸骨圧迫の様子（動画より）



人工呼吸の様子（動画より）

実際、動画を視聴してみるととても参考になりました。AEDを使用すること自体も重要ですが、実際は使用する前後の処置がとても重要であることが分かりました。

まずは応援を呼び、AEDを取りに行く（また準備をする）、その間、胸骨圧迫、人工呼吸を実施し、反応がない場合にAEDを使用する。AEDからの音声に従い、救急車が到着するまでこのサイクルを繰り返します。

動画を見なければ分からないことが多くありました。今後は動画を定期的に視聴し、“もしも”の際の処置を忘れずれないよう努めなければならぬと強く感じる講習会でした。